

科目名	言語教育学特講	担当者	ヤブコシ 藪越 トモコ 知子	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	----------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>言語教育の分野では、教育実践上の問題を解決したり、言語習得過程を解明したりするために様々な研究が行われていますが、研究を行う上で、研究課題を絞り込み、その課題に応じた研究手法を選択することは必要不可欠なことです。</p> <p>本講座では、外国語教育や第二言語習得の分野で研究を行うための方法論を学び、当該研究分野で用いられる研究手法に関する基本概念の枠組みと多岐にわたる研究手法を理解し、実証研究を行うための研究手法の修得により以下の能力を身につけることを目的とします。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>外国語教育や第二言語習得の分野で研究を行うための方法論を学び、当該研究分野で用いられる研究手法に関する基本概念の枠組みと多岐にわたる研究手法を理解し、実証研究を行うための研究手法を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究手法に関する基本概念の枠組みと多岐にわたる研究手法を理解し、説明することができる。</li> <li>受講生各自の研究課題に応じた研究計画を立案し、適切なデータ収集法や分析方法を選択することができる。</li> <li>教員や他の受講生からフィードバックを受けながら、到達目標の達成を目指して、自主的に学習に取り組むことができる。</li> </ul>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>manaba folio の掲示板を利用し、受講生同士の協働学習（例：レポート課題に関する質疑応答、意見交換など）を行う。</li> <li>manaba folio 上でインタラクティブな個別指導を受ける。</li> <li>図書館、インターネット等で関連論文を検索・入手し、レポートを作成する。</li> </ul> <p>【学修方略 (LS) と学修時間】</p> <p>各レポート課題の完成までに、以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(自習) 教材と関連論文を熟読する：15 時間</li> <li>(自主研究) 文献を検索・入手し、自身の研究計画を立案する：10 時間</li> <li>(レポート作成) レポートを執筆・推敲し、完成させる：15 時間</li> <li>(ディベート) 教員や他の受講生と意見交換をする：5 時間</li> </ul>		
スケジュール	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6 月末：レポート課題 1 初稿提出</li> <li>8 月末：レポート課題 2 初稿提出</li> <li>学事歴で定められた前期課題提出締切日：レポート課題 1, 2 最終稿提出</li> </ul> <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10 月末：レポート課題 1 初稿提出</li> <li>12 月末：レポート課題 2 初稿提出</li> <li>学事歴で定められた後期課題提出締切日：レポート課題 1, 2 最終稿提出</li> </ul>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>形式（構成、引用方法、文章表現）</li> <li>内容（論旨の明確さ、理解度、独創性）</li> </ul> <p>*前期レポート課題 1, 2 と後期レポート課題 1 は最終稿で評価する。 *後期レポート課題 2 は最終試験として初稿で評価する。</p>
	観察記録	20 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピア・レスポンスへの参加度、レポート添削への対応等</li> </ul>
履修者への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポートは初稿・最終稿ともに提出前に必ず推敲し、完成度の向上に努めてください。</li> <li>文章のみのレポートにせず、図表を適宜用いたレポートを作成してください。</li> <li>レポート作成で文献を参照・引用した場合は、レポートの巻末に参考文献を提示してください。</li> <li>受講生同士の協働学習を心がけてください。</li> </ul>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 竹内理，水本篤（編著） 教材名： 『外国語教育研究ハンドブック【改訂版】—研究手法のより良い理解のために』（松柏社，2014）ISBN 978-4-7754-0201-6，3,500 円＋税
	本書は外国語教育研究や第二言語習得研究における研究手法を網羅的に扱っており，研究の基本的概念，研究手法，分析方法，結果の提示法などを解説している。
参考図書	1. 浦野研（他）『はじめての英語教育研究—押さえておきたいコツとポイント』（研究社，2016）ISBN 978-4-3274-2197-7，2,400 円＋税 2. 小塩真司『SPSS と Amos による心理・調査データ解析 第 3 版』（東京図書，2018）ISBN 978-4-4890-2291-3，2,800 円＋税
履修上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受講生自身の研究課題と研究計画の立案を念頭に置いて，各研究手法の学習を進めてください。</li> <li>・ 基本教材に加えて，参考図書 1 を適宜参照し，各分析方法が用いられる研究手法（実験研究，質問紙法など）を理解しながら学習を進めてください。</li> <li>・ 統計手法や統計ソフトの詳細に関しては，参考図書 2 を参照してください。</li> </ul>
レポート課題 1	以下に示す項目について，教材と参考図書などを参照しながら，自分の言葉で説明してください。 ①研究とは何か ②研究の手順 ③量的研究とは何か ④記述統計と推測統計 <b>留意点：</b> 各項目 700～800 字程度を目安に，図表等を適宜使って説明してください。
レポート課題 2	以下の分析方法は，何を調べるために用いられるどのような統計手法なのかを，自分の言葉で説明してください。 ①t検定 ②分散分析 ③ノンパラメトリック検定 ④相関分析と重回帰分析 <b>留意点：</b> 各項目 700～800 字程度を目安に，図表等を適宜使って説明してください。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 竹内理，水本篤（編著） 教材名： 『外国語教育研究ハンドブック【改訂版】—研究手法のより良い理解のために』（松柏社，2014）ISBN 978-4-7754-0201-6，3,500 円＋税
	本書は外国語教育研究や第二言語習得研究における研究手法を網羅的に扱っており，研究の基本的概念，研究手法，分析方法，結果の提示法などを解説している。
参考図書	1. 浦野研（他）『はじめての英語教育研究—押さえておきたいコツとポイント』（研究社，2016）ISBN 978-4-3274-2197-7，2,400 円＋税 2. 小塩真司『SPSS と Amos による心理・調査データ解析 第 3 版』（東京図書，2018）ISBN 978-4-4890-2291-3，2,800 円＋税
履修上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受講生自身の研究課題と研究計画の立案を念頭に置いて，各研究手法の学習を進めてください。</li> <li>・ 基本教材に加えて，参考図書 1 を適宜参照し，各分析方法が用いられる研究手法（実験研究，質問紙法，面接法など）を理解しながら学習を進めてください。</li> <li>・ 統計手法や統計ソフトの詳細に関しては，参考図書 2 を参照してください。</li> <li>・ ピア・レスポンスを通して，研究への考察を深めてください。</li> </ul>
レポート課題 1	以下の分析・研究手法は，何を調べるために用いられるどのような手法なのかを，自分の言葉で説明してください。 ①因子分析 ②SEM ③質的研究 ④GTA <b>留意点：</b> 各項目 700～800 字程度を目安に，図表等を適宜使って説明してください。
レポート課題 2	受講生自身の研究課題に応じた研究計画を立案してください（以下の項目を含めること）。 ①研究課題 ②先行研究 ③研究目的 ④研究対象者 ⑤データ収集法 ⑥分析方法 <b>留意点：</b> 3,000 字程度を目安に，図表等を適宜使って述べてください。

### 基本教材 1

第 1 回	教材の第 1 章を精読し、研究とは何か、研究の手順を理解し、レポート課題の下書きをする (参考図書 1 の第 1, 2, 3 章も参照)
第 2 回	教材の第 1 章を精読し、量的研究と質的研究の違いを理解し、レポート課題の下書きをする (参考図書 1 の第 1, 4, 6 章も参照)
第 3 回	教材の第 2 章を精読し、測定の妥当性と信頼性を理解する (参考図書 1 の第 6 章も参照)
第 4 回	教材の第 3, 4 章を精読し、記述統計と推測統計の基礎知識を理解し、レポート課題の下書きをする (参考図書 1 の第 6 章も参照)
第 5 回	レポート課題 1 の初稿を執筆する
第 6 回	レポート課題 1 の初稿を推敲し、提出する
第 7 回	教材の第 5 章を精読し、 $t$ 検定を理解し、レポート課題の下書きをする(参考図書 1 の第 6 章も参照)
第 8 回	教材の第 6, 7 章を精読し、分散分析を理解し、レポート課題の下書きをする(参考図書 1 の第 6 章も参照)
第 9 回	レポート課題 1 の添削指導をもとに最終稿を作成する
第 10 回	教材の第 8 章を精読し、ノンパラメトリック検定を理解し、レポート課題の下書きをする (参考図書 1 の第 6 章も参照)
第 11 回	教材の第 9, 10 章を精読し、相関分析と重回帰分析を理解し、レポート課題の下書きをする (参考図書 1 の第 6 章も参照)
第 12 回	レポート課題 2 の初稿を執筆する
第 13 回	レポート課題 2 の初稿を推敲し、提出する
第 14 回	教材の第 11 章を精読し、頻度データの分析方法を理解する
第 15 回	レポート課題 2 の添削指導をもとに最終稿を作成し、提出する

### 基本教材 2

第 1 回	教材の第 12 章を精読し、質問紙法と因子分析を理解し、レポート課題の下書きをする (参考図書 1 の第 4, 6 章も参照)
第 2 回	教材の第 14 章を精読し、SEM を理解し、レポート課題の下書きをする
第 3 回	教材の第 17 章を精読し、質的研究を理解し、レポート課題の下書きをする (参考図書 1 の第 5 章も参照)
第 4 回	教材の第 18 章を精読し、面接法を理解し、レポート課題の下書きをする (参考図書 1 の第 4, 5 章も参照)
第 5 回	教材の第 19, 21 章を精読し、GTA を理解し、レポート課題の下書きをする (参考図書 1 の第 5 章も参照)
第 6 回	レポート課題 1 の初稿を執筆する
第 7 回	レポート課題 1 の初稿を推敲し、提出する
第 8 回	レポート課題 2 の研究計画の立案 1: 自身の研究課題に関連する先行研究を検索・入手し、概要をまとめる (参考図書 1 の第 3 章も参照)
第 9 回	レポート課題 2 の研究計画の立案 2: 自身の研究課題に関連する先行研究を検索・入手し、概要をまとめる (参考図書 1 の第 3 章も参照)
第 10 回	レポート課題 1 の添削指導をもとに最終稿を作成する
第 11 回	レポート課題 2 の研究計画の立案 3: 研究目的, 対象者, データ収集法, 分析方法を検討し、まとめる
第 12 回	レポート課題 2 の初稿を執筆・推敲し、提出する
第 13 回	レポート課題 2 のピア・レスポンス: 他の受講生の研究計画を確認し、フィードバックをする
第 14 回	レポート課題 2 のピア・レスポンスをもとに修正稿を作成する
第 15 回	レポート課題 2 のピア・レスポンスと添削指導をもとに最終稿を作成し、提出する